

道立オホーツク公園 除雪ボランティア H.30.03.30

北海道通信社 記事



網走工業が除雪ボランティア

1日でも早く春の散策を

毎年恒例 オホーツク公園で

【網走発】網走工業㈱(網走市)は三月

三十日、網走市内の道立オホーツク公園で毎年恒例の除雪ボランティアを実施した。春の散策やジョギングなど、一日でも早く楽しんでもらうため、中山社長を含め社員七人がボランティアに参加し、手作業とロータリー車で丁寧に園内外周・センターハウス前を除

雪した。網走市内の天都山にあるオホーツク公園は、平成十年度に全面開園。百七・五畝という広大な敷地にアウトラクタリーエーションのための様々な施設を完備し、道民および観光客の憩いの場となっている。同社は、十七年度から除雪ボランティアに取り組んでいる。例年、雪解け早々



ロータリー車で丁寧に園内を除雪

りも少なく、深いところでも三十〜四十センチの雪が残っている。この日は、広大な園内の園路に積もった雪をロータリー車で飛ばしたほか、中山社長自らスコップを手にし、社員らとともに、センターハウス前の固められた

「春の散策やジョギングを楽しむにしている市民は多い。恒例行事として来年度以降も継続して取り組んでいきたい」と話していた。

に行われていたマラソン大会のために、同社が一肌脱ぎと除雪作業を担ったことがきっかけ。現在、大会は開催されていないものの、公園整備に携わったことなどから、春の恒例行事としてボランティアを継続している。ことしの積雪は、例年よ



大型ロータリー車による除雪

